

## 1 単元名 心にのこったところをしょうかいし合おう

(主な教材:「ないた 赤おに」 教育出版)

## 2 本単元における言語活動

教材を読み、登場人物の気持ちを考えたり、心に残ったところとその理由を紹介し合ったりする。

## 3 単元について

## (1) 単元観

児童はこれまでに、『きつねのおきゃくさま』の学習で、ひよこやあひるやうさぎに対するきつねの気持ちの変化に気付きながら読んだり、『わにのおじいさんのたからもの』の学習で、おにの子とわにのおじいさんの心のつながりを読んだりしてきた。また、『きつねのおきゃくさま』では、きつねの気持ちを日記形式で表し、主人公の心情や場面の様子の理解を深めてきた。本教材『ないた赤おに』は、物語の展開がはっきりしており、時間的な順序や事柄の順序を追いやすい作品である。また、主人公の赤おにに対して友達の青おにの存在が強く影響している。そこで、青おにや人間との関わりを通して、赤おにがどのような気持ちでどう行動したのか、場面ごとに変化していく様子に気付かせたい。

そして、心に残った場面について紹介する活動では、登場人物と自分の体験とを結び付けて考えたり、根拠となる叙述に線を引いたりしながら感じたことを紹介することができるようにしていきたい。また、友達と互いの考えを共有する際に、自分の考えとともにその根拠となる叙述も伝え合うことで、同じ場面に着目していても、受け取り方が違う場合もあることに気付くことができるようにしたい。

## (2) 児童の実態 (省略)

## (3) 指導観 (仮説とのかかわり)

## &lt;仮説①&gt;

単元全体の学習過程の見通しをもち、言語活動を工夫すれば、児童の学習に向かう意欲が高まり、自分の考えや思いを伝えられるようになるだろう。

本教材は、中心人物である赤おにの心が、他の登場人物との関わりを通して大きく変わっていく物語である。児童が物語を「読みたい」「伝えたい」という意欲をもつことができるようにするために、単元のゴールを明確にし、目的意識をもって学習を進めていきたい。本単元では、心に残ったところとその理由を明らかにし、友達に紹介するという言語活動を設定する。ワークシートを用いて場面ごとの行動や会話を整理したり、赤おにと他の登場人物の心情を考えたりすることで、心に残ったところを紹介する活動の際に各場面の様子が振り返りやすくなるのではないかと考える。

また、場面の様子や場面ごとの心情だけでなく、友達の青おにとの心のつながりを読み取ったり、赤おにの心情の変化を考えさせたりしながら読みを深めていくことで、児童の学習に向かう意欲が高まると考える。

## &lt;仮説②&gt;

語彙を増やすための学習環境を工夫することにより、児童が自分の考えをもったり、整理したりすることができるようになり、自分の考えや思いを伝えられるようになるだろう。

心に残ったところを紹介するにあたり、どうしてそのように思ったのか、物語のどこからそう考えたのか根拠となる叙述に傍線を引いて明らかにしておく。心情を表す言葉のリストをタブレット上で配布し、いつでも見られるようにしておくことで、感情を表す言葉は沢山あることに気づき、赤おにが感じた心情に一番近いと考える言葉を探すことができるようにしたい。

自力解決の時間の後に、積極的に少人数で話し合う時間を設ける。読み手に伝わりやすい書き方になっているか確認したり、友達と考えを比較したりしながら読むことができるようにする。一方で考えをもつことが難しい児童は他の友達の考えを聞いて参考にしたり、アドバイスをもらったりすることで、考えを形成する手助けになるのではないかと考える。

#### 4 単元の見目

- ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 [知識及び技能] (1)ク
- ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1)エ
- ・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1)オ
- ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1)カ
- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 [学びに向かう力、人間性等]

#### 5 単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 (1)ク	①「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 (C (1)エ) ②「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 (C (1)オ) ③「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 (C (1)カ)	①積極的に文章の内容と自分の体験とを結び付け、これまでの学習を生かして心に残ったことを紹介しようとしている。

#### 6 指導と評価の計画 9時間扱い (本時 7/9)

次	時配	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 (観点) 【方法】
第一次	1	・単元のめあてをつかむ。 ・範読を聞き、感想をもつ。 ・初発の感想を交流する。 ・心に残った場面を紹介し合うことを伝え、見通しをもつ。	・本単元でどんな力を付けるのかを確認する。 ・全文を音読し、初発の感想を書く。 ・初発の感想をもとに、単元の見通しをもたせる。	・心に残ったところを紹介し合うという見通しをもち、学習計画を立てようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度①) 【観察・発言】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 (知識及び技能①) 【観察・発言】
第二次	2	・登場人物とできごとを確かめる。	・場面ごとに登場人物とできごとを確認し、できごとの順序を整理させる。	・主な登場人物とできごとを確かめている。 (思考・判断・表現①) 【発言・ワークシート】

	3 4 5 6	・人間たちや青おにとの関わりから、赤おにの気持ちの変化について考える。	・赤おにの言動や行動から、「赤おにと人間たちとの関わり」や「赤おにと青おにとの関わり」がどう変化しているかに着目させる。	・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 (思考・判断・表現①) 【発言・ワークシート】
	7 本 時	・第六場面を読み、赤おにと人間たち、赤おにと青おにの関係の変化について考える。 ・第六場面の赤おにが青おにの手紙を読んで涙を流したときの赤おにの気持ちを考える。	・人間たちや青おにとの関わりから、赤おにがどのように変わったかについて考える。 ・赤おにと青おにのこれまでの関係や、赤おにの願いを叶えるために青おにがとった行動から、赤おにが涙を流しているときの心情を考える。	・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 (思考・判断・表現①) 【発言・ワークシート】
	8	・赤おにと青おにがそれぞれどのようなおになのか考える。	・これまでの物語の学習を振り返り、二人の人物の行動や発言など、本文の言葉に着目させる。	・登場人物の行動や会話から、登場人物について考えている。 (思考・判断・表現②) 【発言・ワークシート】
第 三 次	9	・お話を読んで心に残ったところとその理由を紹介し合う。 ・心に残ったことを考えるときに大切にしたことや、心に残ったことを紹介し合って気付いたことを振り返る。	・考えの根拠となる叙述に傍線を引かせる。 ・同じ場面や表現に興味をもっていても、根拠となる言葉が違っていたり、同じ言葉を根拠としていても、受け取り方が少し違っていたりする友達がいることに気付かせる。	・積極的に文章の内容と自分の体験とを結び付け、心に残ったことを紹介しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度①) 【観察・発言】 ・心に残ったこととその訳を紹介し合い、互いの考えを分かち合っている。 (思考・判断・表現③) 【ワークシート・発言】

## 7 本時の指導 (7 / 9)

### (1) 目標

- ・場面の様子に着目し、登場人物の行動の理由を考えることができる。

### (2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価 (観点) 【方法】	資料
3	【見いだす】 1 学習計画を見て、本時の学習と学習のめあてを確認する。	・学習計画の掲示物を見て、学習の見通しがもてるようにする。	学習計画の掲示物
	青おにからのはり紙を、なみだをながして読んでいる赤おにの気持ちを考えよう。		
2	2 第6場面を音読する。		

10	3 赤おにと青おにの関係について考える。  【自分で取り組む】	・人間との関わりに変化があり、赤おにの願いが叶った一方で、青おにが訪ねてこなくなったことに気付かせる。	ワークシート
10	3 赤おにがなみだを流して読んだ理由を考える。 ・書き終えた児童は自分のワークシートを写真に撮り、提出箱へ送る。 ・書き終えた児童同士で教室の後方で読み合いを始める。  【広げ深める】	・各場面で活用したワークシートをふりかえりながら、赤おにの願いをかなえるために青おにがしたことがわかる部分に線を引く。 ・青おにに会えなくなったことだけでなく、青おにへの感謝の気持ちや、自分だけが楽しい思いをしていることへの罪悪感などにも気付かせる。(仮説①)	ワークシート タブレット 端末
10	4 グループで意見交流をする。 ＜交流の視点＞ ・共通点や相違点の確認 ・考えを書くことが難しい児童への支援	・交流の視点を確認し、目的意識をもって話し合いができるようにする。(仮説②)	
7	5 全体で共有する。 ・提出箱に送った写真を全体で見ながら全体で共有する。	○場面の様子に着目し、登場人物の行動の理由を考えることができる。 (思・判・表①) <b>【ワークシート】</b> ・自分の意見を書くことが難しい児童も友達の見聞を聞いて、自分が誰の見聞に共感できるか考えながら聞くようにする。	大型モニター
3	【まとめあげる】 6 学習を振り返る。	・赤おにがなみだを流していた理由には、いくつかの理由があることに友達の見聞を通して気付かせる。  ・赤おにの願いは叶ったが、その代わりに今までずっと友達だった青おにが旅に出てしまったことについて、自分はどう感じたか考えさせる。	

(3) 板書計画

<ul style="list-style-type: none"> <li>・青おにがいなくなってしまっ てさみしい。</li> <li>・自分だけがよい思いをして、青おににわるいことをした。</li> <li>・青おにくんにあやまりたい。</li> </ul>	張り紙		赤おにと青おにのかかわり	赤おにの気持ち	<p>ないた赤おに</p> <p>青おにからのほり紙を、なみだをながして読んでいる赤おにの気持ちを考えよう。</p>
--	-----	--	--------------	---------	--